東証・名証
[証券コード:2139]

中広報
CORPORATE COMMUNICATION MEDIA

VOL.423 / 2026 9月号
HAPPY MEDIA®で日本を元気に!

KEY TOPIC

1,890件の賛同で、理不尽を許さない社会へ

「#にっぽんオレンジシンボル運動2026」

中広グループでは『地域みっちゃく生活情報誌®』を中心に、児童虐待防止運動を展開しています。これは児童相談所虐待対応ダイヤル「189（いちはやく）」の周知や啓発活動を行う取り組みで、2024年より文部科学省およびこども家庭庁の後援を得て実施しております。この運動の一環として、こども家庭庁が定める11月の「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」期間に合わせ、全国各地のシンボルを児童虐待防止のイメージカラーであるオレンジ色に彩る「#にっぽんオレンジシンボル運動」の賛同者募集を本年も開始いたしました。

多角的なアプローチとPRで社会の意識を変える

2018年、東京都目黒区で当時5歳だった船戸結愛ちゃんが過酷な虐待により命を落とす痛ましい事件が発生しました。彼女がノートに残した「あしたはいっしょうけんめいやってパパとママにみせるぞ」という切実な願いも虚しく、幼い命が奪われた現実に日本中が大きな衝撃を受けました。ハッピーメディア®を発行する中広グループは「このような理不尽な事件を二度と繰り返させてはならない」と強く心に刻み、社会全体で子どもと家庭を見守る抑止力をつくるため「189番」の周知活動を開始しました。

運動は、情報誌での記事掲載による啓発にとどまらず、小学生向けに189番を伝える校内放送プロモーションや、全国のランドマークをオレンジ色に染め上げるにっぽんオレンジシンボル運動など、多角的にアプローチを行っています。

#にっぽんオレンジシンボル運動メインビジュアル案

『ひとりじゃないよ ちゃんと見てるよ』

今年のにっぽんオレンジシンボル運動のポスターは、中広グループ全社員から公募しました。メインコピーに選ばれたのは『**ひとりじゃないよ　ちゃんと見てるよ**』。地域の人々が互いにつながり、一人の子どもを温かく見守ること。そして、一人ひとりの小さな「気づき」こそが、子どもを救う大きな「支え」になることを伝えたい――そんな願いを込めました。広告という手段を通して「189（いちはやく）」という救いの手を地域に根付かせること。**それは「もしかして？」という誰かの小さな気づきを、子どもを救う確かな助けへと変えるために他なりません。**

目標「1,890（いちはやく）件」の賛同獲得を目指して

昨年度の「#にっぽんオレンジシンボル運動」では、全国47都道府県で1,500箇所もの自治体・企業様からご賛同をいただき、日本各地にオレンジ色の啓発の輪が広がりました。今年度は、ダイヤル番号にちなんだ「1,890件」の賛同獲得を目標に掲げ、より大きな社会的インパクトと認知向上を目指してまいります。「子どもたちの笑顔を守りたい」――ハッピーメディア®として、その想いをプロモーションの力で形にし、誰ひとり取り残さない未来を築いていく。それが、私たち中広グループが何よりも大切にしている、揺るぎない使命なのです。

#にっぽんオレンジシンボル運動 賛同条件

①、②は、一般の方が見える場所での実施に加え、本運動のポスター掲示が必須となります。

1. 1日1時間以上連続してオレンジ色にライトアップされている
2. オレンジ色のなにかを掲げる取り組み※気づきを与えられることがポイント
3. デジタルサイネージで放映時間の合計が1日1時間以上

COLUMN

会長コラム | 9月号

導線 DOUSEN

＼毎日更新!／ クリック! 会長BLOG

人生最少唯今刻

―― 人生もっとも若きは、ただ今この刻 ――

過去が咲いている今 未来の蕾でいっぱいな今

『中広報』は今号で423号、創刊から35年を数えます。中広は来年、創業50年です。広告業による地域貢献を胸に、中核の『地域みっちゃく生活情報誌®』は全国で約1,200万部を発行し、日本最大級の紙媒体配布網を築くまでになりました。しかし49年の歴史は、50年目からの土台に過ぎません。WEB、データ、AIを駆使し、日本を元気にする地域データインフラ企業へ。そして社会を創造する企業へと進化する、49期はその転換点です。

現状維持は停滞の始まりであり、その先にあるのは衰退です。だからこそ「変化こそ唯一の永遠」なのです。『中広報』も例外ではなく、来月号からグループ全体の羅針盤としてリニューアルします。創刊以来綴ってきたこの「導線」も変わらねばなりません。最後の「導線」、少々気合を入れて書きます。

最近、よく口にする言葉があります。陶芸家・河井寛次郎の「過去が咲いている今。未来の蕾でいっぱいな今」です。今のあなたの姿は、一生懸命に学び、働き、困難から逃げずに前を向いてきた積み重ねが咲かせた花です。

大切なのはその次です。今日という「今」の中で、何を学び、誰に感謝し、困難にどう立ち向かうか。それらすべてが未来の蕾です。過去を悔やんでも、未来を心配しても仕方がありません。我々にできるのは、「今」「ここ」を、ど真剣に生きることだけです。中広グループ730名に問いかけたい。あなたは今日、どんな蕾を膨らませていますか。

順境も逆境も受け止め 継続した先に人格が宿る

残暑が厳しい今、「暑い暑い」と口に出していないでしょうか。思想家・森信三の教えに「暑い、寒いを禁句にせよ」とあります。自分ではどうにもならない環境を嘆いたところで、気温は変わりません。必要なのは、暑さ寒さに備える知恵です。

これは仕事も同じです。思い通りにならないと弱音ばかり吐いていても、道は拓けません。逆にうまくいった時に驕り、自分の力だと思い込めば、運は逃げていきます。順境にも逆境にも心を奪われず、起きたことの意味を受け止め、何ができるかを考える。そこに人間としての深みが宿るのです。

「継続は力なり」と申します。小さな努力でも、毎日積み重ねれば、それは能力や信用となり、やがてその人の人格になります。「嫌なら辞めてもいい」という風潮もありますが、忍耐力のない人間が何かを成し遂げられるほど、人生は甘くありません。まずはど真剣に打ち込んでみることです。知識を蓄え、経験を重ね、失敗しても工夫する。そうなれば仕事は面白くなります。続けたから好きになる仕事もあるのです。

途中で投げ出す理由は、人間関係の悩みが大半でしょう。しかし一生に出会える人など、ごく僅かです。意に沿わぬ人であろうと、出会いを縁と捉え、自らの財産とするかどうかは、あなた次第です。続けることです。続ければ、必ず新しい景色が見えてきます。

菊作り 菊見るときは陰の人

本を開き自分の世界を広げ 絶えず学び自らを高めよ

他人事として、目を背けている人がいるかもしれません。政治の話です。広告が今という社会の映し絵であり、経済の尖兵である以上、世の中に無関心な広告人が、地域の未来を語れるはずがありません。政治に関心を持つとは、社会の矛盾を考えることです。新聞に目を通す。人の意見を聞く。最後は、自分の頭で考え、選挙に行く。それが成熟した社会人の姿です。

本を読むのも修養に有効です。本の素晴らしさは、何百年前の先人と対話できることにあります。行ったことのない国を訪れることも、未来や空想の世界に心を飛ばすこともできます。我々広告人は、単に商品を売るだけでなく、こんな暮らしがあると可能性を提示する仕事でもあります。未来を語る人間が、本を開かないようではいけません。

喜寿を迎えてなお、言い聞かせている言葉があります。それは「耆脩（きしゅう）」、年齢を重ねても学びを止めず、修養を重ね、人格を磨き続ける意味です。人生の時間には限りがあります。だからこそ、今を生きるのです。今この時が人生、一番若いのですから。自らの可能性を、自分で見限ってはいけません。そして「上求菩提（じょうぐぼだい）、下化衆生（げけしゅじょう）」。自らを高め、高めた己をもって、僅かでも人のため、世のために尽くす。そんな人生を全うしたいと思っています。

次の50年をつくるのは今 「ありがとう」で共に前へ

今期、中広グループの抱負は、「ありがとうが飛び交う職場」です。私のモットーは「上機嫌」。上機嫌であるために必要なのは笑顔、受容、そして感謝です。日々の当たり前への感謝を忘れた瞬間、人は傲慢になります。故に「ありがとう」は、人間を人間らしく保つ言葉なのです。今日何回「ありがとう」と言いましたか。

『中広報』発刊から35年、「導線」にお付き合いいただき、心より感謝申し上げます。これは別れの文章ではありません。フリーメディアを全国5,000万世帯に届け、広告の力で地域経済を動かすという私の夢はまだ道半ばです。創業50年はゴールではなく、スタートラインです。

中広グループ同志、次の50年をつくるのは誰かではなくあなたです。それをつくるのは、いつかではなく今日です。今、ここを、ど真剣に生きよう。上機嫌で行こう。「ありがとう」を伝えよう。本を読もう。人に会おう。仕事を楽しもう。挑戦しよう。未来の蕾を、一つでも多く膨らませよう。最後にこの言葉を贈ります。

「今がいちばん若い」

人生は、常にこれからです。35年間、ありがとうございました。これからも、共に前へ。

導線終章

四十九年志未央
49年の歩みを重ねても、志はまだ道半ば

地域燈火照八荒
地域を照らす仕事を、
さらに日本中へ広げていく

耆脩不息磨心鏡
年齢を重ねても学と修養を止めず、心を磨き

感謝常懐古善縁
感謝を忘れず、人との縁を大切にする

過去開花今日在
今日の自分は、これまで生きてきた
過去が咲かせた花であり

未来含蕾此時芳
同時に未来の花を宿す蕾でもある

人生最少唯今刻
人生でいちばん若いのは、いつでも「今」

更向五旬拓大道
創業50年は到達点ではない。
次の50年へ、新しい大道を切り拓いていこう

2026年9月9日・長月・重陽の節句・如水こと二代目後藤数次

気づいたら、家に街がある。

HAPPY MEDIA『地域みっちゃく生活情報誌®』 月間総発行部数 35都道府県170誌

11,909,933部

※情報は2026年8月発行号に基づき掲載しています　※VC発行エリアを含む　※世帯到達率は配布部数を2026年7月1日現在の各県が公表している世帯数で割り算出
※一部イレギュラーな発行に伴い9月に流通していないものを含む　※発行日は月により変動する可能性がございます。詳細はお問い合わせください
※上記部数には設置・季刊誌媒体を含みません

北海道

道内発行媒体数 5誌　道内総発行部数 867,540部

SORA vol.138	滝川市・砂川市・赤平市・歌志内市・新十津川町・奈井江町	41,500部 20日発行
ぷりっぽー		
豊平区・清田区 南区版 vol.246	札幌市豊平区・清田区・南区・中央区（東部）・北広島市大曲	229,675部 第4火曜日発行
北区・東区版 vol.217	札幌市北区・東区	236,370部 第4火曜日発行
白石区・厚別区版 vol.243	札幌市白石区・厚別区 中央区（創成川より東）・江別市大麻地区	173,615部 第4火曜日発行
西区・手稲区版 vol.253	札幌市西区・手稲区 中央区（西部）小樽市（一部）	186,380部 第4火曜日発行

岩手県

県内発行媒体数 1誌　県内総発行部数 120,000部

情報誌 ゆうゆう vol.590~591	盛岡市・滝沢市（一部）・矢巾町（一部）・紫波町（一部）	120,000部 最終火曜日とその2週間前の木曜発行

秋田県

県内発行媒体数 1誌　県内総発行部数 118,400部

KuRaSu vol.206	秋田市	118,400部 1日発行

宮城県

県内発行媒体数 6誌　県内総発行部数 586,670部　県内世帯到達率 50%以上

んだっちゃ! vol.150	石巻市・東松島市 女川町	59,000部 20日発行
さきっぺ! vol.114	大崎市	40,000部 20日発行
とみっず! vol.137	仙台市泉区 富谷市	84,600部 20日発行
なってぃ! vol.131	名取市・岩沼市 亘理町・柴田町 大河原町	53,830部 20日発行
ARIFT		
仙台北版 vol.1881	富谷市・仙台市泉区・仙台市青葉区・仙台市宮城野区・仙台市若林区・黒川郡大和町	171,090部 第4または第5金曜日発行
仙台南版 vol.1881	仙台市宮城野区、仙台市若林区、仙台市太白区、塩竈市、名取市、岩沼市、多賀城市、宮城郡七ヶ浜町、宮城郡利府町	178,150部 第4または第5金曜日発行

山形県

県内発行媒体数 2誌　県内総発行部数 216,550部　県内世帯到達率 50%以上

あっぷる vol.126	【東南おきたま版】米沢市・南陽市 高畠町・川西町	【東南おきたま版】60,000部
	【西おきたま版】長井市・白鷹町 飯豊町・小国町	【西おきたま版】22,000部
		82,000部 20日発行
ARIFT 山形 vol.1881	東河江市・西村山郡河北町・西村山郡西川町・西村山郡大江町・西村山郡朝日町・東村山郡中山町・山形市・上山市・東村山郡山辺町・村山市・天童市・東根市・尾花沢市・北村山郡大石田町	134,550部 第4または第5金曜日発行

福島県

県内発行媒体数 2誌　県内総発行部数 91,500部

月刊 すかっと vol.125	須賀川市・鏡石町・天栄村 玉川村・石川町・浅川町 矢吹町・古殿町・平田村	58,500部 25日発行
月刊 こみっと vol.47	白河市・西郷村 泉崎村・中島村	33,000部 25日発行

茨城県

県内発行媒体数 5誌　県内総発行部数 250,330部

ひたち vol.202	日立市	62,000部 25日発行
にしも vol.159	筑西市・下妻市 結城市	44,000部 25日発行
こがも vol.135	古河市・境町 栃木県野木町	52,000部 25日発行
かしす vol.154	鹿嶋市・神栖市 潮来市	50,000部 25日発行
ちいき新聞 茨城・中部版 vol.482~484	守谷市・つくばみらい市・取手市	42,330部 毎週金曜日発行

栃木県

県内発行媒体数 1誌　県内総発行部数 52,000部

おりっぷ vol.123	小山市	52,000部 25日発行

群馬県

県内発行媒体数 5誌　県内総発行部数 343,000部

太田フリモ vol.114	太田市	50,000部 25日発行
桐生みどりフリモ vol.106	桐生市・みどり市	50,000部 25日発行
伊勢崎フリモ vol.151	伊勢崎市	63,000部 25日発行
前橋フリモ vol.151	前橋市	60,000部 25日発行
高崎フリモ vol.346	高崎市	120,000部 25日発行

埼玉県 100万部以上!

県内発行媒体数 8誌　県内総発行部数 1,031,615部

クッキーズ vol.138	久喜市	52,000部 第4月曜日発行
とねじん vol.138	羽生市・加須市 行田市	56,400部 第4月曜日発行
NAGAZINE vol.129	熊谷市	62,000部 1日発行
Seven vol.72	深谷市	44,000部 20日発行
ぱど 埼玉西版 vol.672	所沢市・入間市・狭山市・飯能市・川越市・ふじみ野市三芳町・富士見市・日高市・三芳町	174,915部 第2または第3金曜日発行
ARIFT		
埼玉南版 vol.1879	新座市・志木市・朝霞市・和光市・戸田市・川口市・蕨市・さいたま市浦和区・南区・緑区 岩槻区・桜区・中央区	297,920部 第2または第3金曜日発行
埼玉中央版 vol.1878	さいたま市西区・岩槻区 大宮区・見沼区・北区 上尾市・蓮田市・桶川市	157,690部 第1または第2金曜日発行
埼玉東版 vol.1878	越谷市・春日部市 草加市・吉川市 三郷市・八潮市	186,690部 第1または第2金曜日発行

東京都

都内発行媒体数 1誌　都内総発行部数 99,820部

ARIFT		
東京北東版 vol.1878	足立区	99,820部 第1または第2金曜日発行

千葉県 100万部以上!

県内発行媒体数 39誌　県内総発行部数 1,697,483部　県内世帯到達率 50%以上

ちいき新聞		
佐倉西版 vol.2321~2323	佐倉市	42,870部 毎週金曜日発行
東葉版 vol.2321~2323	八千代市	62,530部 毎週金曜日発行
八千代台版 vol.2321~2323	千葉市花見川区 八千代市・習志野市	43,380部 毎週金曜日発行
習志野版 vol.2321~2323	習志野市・船橋市 千葉市花見川区	40,325部 毎週金曜日発行
船橋東版 vol.2321~2323	船橋市	46,205部 毎週金曜日発行
津田沼版 vol.2321~2323	船橋市	40,415部 毎週金曜日発行
習志野西版 vol.2321~2323	習志野市	38,330部 毎週金曜日発行
幕張版 vol.2321~2323	千葉市花見川区 美浜区	37,505部 毎週金曜日発行
千葉NT版 vol.1436~1438	印西市・白井市 船橋市	47,500部 毎週金曜日発行
成田版 vol.1436~1438	成田市・栄町 富里市	41,975部 毎週金曜日発行
佐倉東・酒々井版 vol.1436~1438	佐倉市・酒々井町	22,410部 毎週金曜日発行
富里・八街版 vol.1436~1438	八街市・富里市 成田市	20,170部 毎週金曜日発行
船橋北版 vol.1318~1320	船橋市	32,690部 毎週金曜日発行
鎌ヶ谷版 vol.1318~1320	鎌ヶ谷市・白井市	40,155部 毎週金曜日発行
船橋南版 vol.1202~1204	船橋市	46,670部 毎週金曜日発行
船橋中央版 vol.1202~1204	船橋市・市川市	47,010部 毎週金曜日発行
八幡版 vol.1202~1204	市川市・松戸市	53,675部 毎週金曜日発行
市川版 vol.1194~1196	市川市	40,850部 毎週金曜日発行
船橋西版 vol.1202~1204	市川市・船橋市	55,550部 毎週金曜日発行
美浜版 vol.1307~1309	千葉市美浜区	45,957部 毎週金曜日発行
千葉北版 vol.1307~1309	千葉市花見川区 稲毛区	29,650部 毎週金曜日発行
若葉版 vol.1307~1309	千葉市若葉区 四街道市	43,655部 毎週金曜日発行
四街道版 vol.1307~1309	千葉市稲毛区 若葉区・四街道市	36,074部 毎週金曜日発行
千葉中央版 vol.1307~1309	千葉中央区・稲毛区 若葉区	47,188部 毎週金曜日発行
稲毛版 vol.1307~1309	千葉市稲毛区	42,080部 毎週金曜日発行
蘇我版 vol.1307~1309	千葉市中央区	33,126部 毎週金曜日発行
千葉南版 vol.1307~1309	千葉市中央区・緑区 市原市	56,267部 毎週金曜日発行
市原版 vol.1209~1211	市原市	58,241部 毎週金曜日発行
木更津・袖ヶ浦版 vol.1209~1211	袖ヶ浦市・木更津市	37,120部 毎週金曜日発行
松戸駅周辺版 vol.1194~1196	松戸市	62,510部 毎週金曜日発行
八柱・五香版 vol.1188~1190	松戸市・柏市 鎌ヶ谷市	65,335部 毎週金曜日発行
新松戸・北小金版 vol.1188~1190	松戸市	63,455部 毎週金曜日発行
流山版 vol.1042~1044	流山市	48,185部 毎週金曜日発行
柏中央版 vol.1067~1069	柏市	39,075部 毎週金曜日発行
柏南版 vol.1067~1069	柏市	36,020部 毎週金曜日発行
柏北版 vol.1067~1069	柏市・我孫子市	39,945部 毎週金曜日発行
柏西版 vol.1067~1069	柏市・流山市	37,155部 毎週金曜日発行
我孫子版 vol.1088~1090	我孫子市	39,330部 毎週金曜日発行
野田版 vol.954~956	野田市	36,900部 毎週金曜日発行

神奈川県

県内発行媒体数 3誌　県内総発行部数 579,930部

ARIFT		
横浜中央版 vol.1880	横浜市磯子区・港北区・神奈川区・中区・西区・南区・港南区・旭区・保土ケ谷区・瀬見区	306,720部 第3または第4金曜日発行
田園都市版 vol.1880	横浜市青葉区・緑区・都筑区・川崎市宮前区	138,470部 第3または第4金曜日発行
川崎東・大田区版 vol.1880	川崎市中原区・川崎区・東京都大田区・品川区	134,740部 第3または第4金曜日発行

新潟県 先月より200部増

県内発行媒体数 5誌　県内総発行部数 397,000部

まるごと下越! vol.101	新発田市・村上市（一部）新潟市北区（豊栄）胎内市・聖籠町	55,500部 30日発行
まるごと県央! vol.149	三条市・燕市 加茂市・弥彦村	64,000部 25日発行
まるごと上越! vol.131	上越市・妙高市	63,000部 20日発行
まるごと新潟! vol.12	新潟市中央区・西区・東区	112,500部 28日発行
まるごと生活情報 vol.513~514	長岡市・見附市・小千谷市	102,000部 第2・4土曜日発行

富山県

県内発行媒体数 1誌　県内総発行部数 33,500部

niikawa vol.11	魚津市・黒部市・滑川市	33,500部 月末発行

福井県

県内発行媒体数 1誌　県内総発行部数 33,928部

kirameki club vol.219	敦賀市・美浜町	33,928部 25日発行

山梨県

県内発行媒体数 3誌　県内総発行部数 154,000部

山梨版 ピグレ vol.169	笛吹市・山梨市 甲州市	38,000部 25日発行
ParuPi 中央・甲斐 中央・昭和版 vol.268	甲府市・甲斐市 中央市・昭和町	82,000部 第4月曜日発行
北杜版 なないろ vol.157	韮崎市・北杜市	34,000部 第3金曜日発行

長野県

県内発行媒体数 1誌　県内総発行部数 81,000部

月刊 ぷらざ 諏訪 vol.417	諏訪市・茅野市 岡谷市・下諏訪町 原村・富士見町	81,000部 25日発行

岐阜県

県内発行媒体数 12誌　県内総発行部数 741,392部　県内世帯到達率 88.7%

SARUBOBO vol.366	高山市・飛騨市 下呂市・白川村	54,500部 28日発行
GUJO vol.213	郡上市	20,000部 20日発行
maika vol.240	中津川市・恵那市	44,600部 25日発行
らせる vol.214	土岐市・瑞浪市	36,610部 25日発行
おりべ vol.268	多治見市	44,970部 25日発行
かにさんぐらぶ vol.375	【かに版】可児市・御嵩町	【かに版】44,550部
	【かも版】美濃加茂市・八百津町 坂祝町・川辺町・七宗町 白川町・富加町・東白川村	【かも版】31,070部
		75,620部 25日発行
ぎららくらぶ vol.238	関市・美濃市	42,777部 20日発行
22周年 たんとんぱ vol.265	各務原市	59,800部 20日発行
GiFUTO vol.208	【北部版】岐阜市北部 山県市	【北部版】76,070部
	【南部版】岐阜市南部 岐南町・笠松町	【南部版】119,995部
		196,065部 20日発行
mintoup vol.234	本巣市・瑞穂市 北方町・大野町	47,000部 20日発行
はしまる vol.114	羽島市	24,990部 25日発行
Wao!Club vol.281	【東東版】大垣市南東部、海津市、養老町 輪之内町、安八町	【東東版】46,652部
	【北西版】大垣市北西部、揖斐川町、池田町、神戸町、関ヶ原町、垂井町	【北西版】47,808部
		94,460部 25日発行

静岡県

県内発行媒体数 8誌　県内総発行部数 475,500部

mydo		
三島市・清水町 長泉町・裾野市版 vol.318	三島市・清水町 長泉町・裾野市	66,200部 月末発行
沼津版 vol.366	沼津市	55,700部 月末発行
富士版 vol.404	富士市	65,700部 月末発行
富士宮版 vol.171	富士宮市	28,300部 最終土曜日発行
葵区版 vol.136	静岡市葵区	75,400部 第3または第4土曜日
駿河区版 vol.133	静岡市駿河区	72,500部 第3または第4土曜日
清水区版 vol.105	静岡市清水区	61,800部 第3または第4土曜日
ふじえ~ら vol.98	藤枝市	49,900部 20日発行

愛知県 100万部以上!

県内発行媒体数 25誌　県内総発行部数 1,686,070部

くれよん vol.162	江南市・大口・扶桑版 江南市・大口町 扶桑町	60,600部 末日発行
岩倉・北名古屋版 vol.144	岩倉市 北名古屋市	58,250部 末日発行
一宮・稲沢版 vol.315	一宮市 稲沢市	208,900部 20日発行
清須・あま版 vol.110	清須市・あま市	66,400部 末日発行
海部・津島版 vol.94	津島市・大治町 蟹江町・愛西市	59,900部 28日頃発行
西区・北区版 vol.17	名古屋市西区・北区	67,200部 末日発行
フリモUP		
北版 vol.11	名古屋市中村区・中川区（北部）	61,800部 第4木曜日発行
南版 vol.11	名古屋市中川区（南部）・港区	60,000部 第4木曜日発行
守山フリモ vol.175	名古屋市守山区	68,200部 第4木曜日発行
緑区フリモ vol.169	名古屋市緑区	83,200部 第4木曜日発行
HANAMARU vol.26	豊橋市	100,000部 最終金曜日発行
ぷらりん vol.119	豊田市	115,600部 末日発行
西尾フリモ vol.129	西尾市	41,300部 第3金曜日発行
アサヒトセト vol.170	尾張旭市 瀬戸市	64,900部 第4金曜日発行
KA.NA.U CLUB vol.106	みよし市	23,100部 第3金曜日発行
ゆぃまる vol.122	豊明市	26,610部 第3金曜日発行
cocolu vol.17	刈谷市・知立市	62,000部 第3金曜日発行
北知多フリモ vol.67	大府市・東海市 東浦町	65,000部 第4金曜日発行
安城フリモ vol.66	安城市	40,300部 第3金曜日発行
岡崎フリモ vol.51	岡崎市	62,300部 第3金曜日発行
オレンジクラブ vol.26	蒲郡市 額田郡幸田町	35,000部 第4金曜日発行
Step vol.270	半田市	45,000部 25日発行
はるる vol.162	春日井市	114,900部 第4金曜日発行
ぷるぅむ vol.138	小牧市・豊山町	60,100部 第4金曜日発行
リブル vol.170	犬山市・扶桑町 大口町	35,510部 第4金曜日発行

三重県

県内発行媒体数 9誌　県内総発行部数 624,909部　県内世帯到達率 80.4%

ぽるも vol.246	桑名市・いなべ市 東員町・木曽岬町	70,740部 28日発行
よっかいち Ou vol.227	【北部版】四日市市北部 朝日町・川越町	【北部版】59,143部
	【南部版】四日市市南部 菰野町	【南部版】64,990部
		124,133部 28日発行
20周年 Bellve vol.241	鈴鹿市・亀山市	84,800部 28日発行
15周年 リィーガ vol.181	名張市・伊賀市	55,561部 28日発行
つうぴーす vol.221	津市	104,229部 28日発行
ふぇみんぐ vol.216	松阪市・多気町 明和町・大台町	73,465部 28日発行
イセラ vol.191	伊勢市・鳥羽市 玉城町・度会町	64,940部 28日発行
さみっとくらぶ vol.130	志摩市	20,700部 25日発行
からっと vol.159	尾鷲市・紀北町 熊野市・御浜町 紀宝町	26,341部 28日発行

滋賀県

県内発行媒体数 5誌　県内総発行部数 322,166部　県内世帯到達率 50%以上

botejako vol.232	長浜市・米原市	56,900部 25日発行
konki vol.257	彦根市・多賀町 甲良町・豊郷町 愛荘町	69,167部 25日発行
オウティ vol.187	【近江八幡・竜王版】近江八幡市 竜王町	【近江八幡版】35,408部
	【東近江版】東近江市	【東近江版】40,791部
		76,199部 25日発行
びわこと		
大津北版 vol.166	大津市北部	54,960部 25日発行
草津・守山版 vol.17	草津市・守山市	64,940部 25日発行

大阪府

府内発行媒体数 3誌　府内総発行部数 350,000部

ぱど		
枚方・交野版 vol.1251	枚方市・京都府八幡市・京田辺市	150,000部 第4金曜日発行
寝屋川・枚方版	寝屋川市・枚方市・四條畷市	100,000部 第4金曜日発行
守口・門真版 vol.1214	守口市・門真市 大阪市旭区（一部）	100,000部 第3金曜日発行

和歌山県

県内発行媒体数 2誌　県内総発行部数 64,000部

まいなぁが vol.119	岩出市・紀の川市	40,000部 20日発行
22周年 まいとん vol.25	橋本市・かつらぎ町	24,000部 20日発行

奈良県

県内発行媒体数 2誌　県内総発行部数 103,000部

かしるくらぶ vol.106	橿原市	43,000部 28日発行
ぱど 奈良・けいはんな版 vol.658	奈良市・生駒市・京都府木津川市・精華町・京田辺市・大阪府四条畷市田原台	60,000部 第2金曜日発行

鳥取県

県内発行媒体数 3誌　県内総発行部数 158,700部　県内世帯到達率 66.5%

つばさ vol.162	鳥取市	64,000部 第4月曜日発行
ぐらら vol.126	倉吉市・三朝町 湯梨浜町・北栄町 琴浦町	37,200部 第4月曜日発行
こはく vol.150	米子市・境港市・日吉津村・南部町・伯耆町・島根県安来市	57,500部 第4月曜日発行

広島県

県内発行媒体数 2誌　県内総発行部数 106,000部

2周年 はっカラ vol.25	廿日市市	41,000部 20日発行
えるびん vol.19	福山市	65,000部 25日発行

香川県

県内発行媒体数 1誌　県内総発行部数 71,000部

月刊 マルータ vol.131	丸亀市・宇多津町 坂出市（一部）・多度津町（一部）・まんのう町（一部）・琴平町（一部）・善通寺市（一部）	71,000部 25日発行

高知県

県内発行媒体数 1誌　県内総発行部数 40,180部

こじゃんと vol.125	南国市 香南市・香美市	40,180部 22日発行

福岡県

県内発行媒体数 2誌　県内総発行部数 102,500部

むすぶ vol.170	宗像市・福津市	64,500部 20日発行
おるね vol.142	古賀市・新宮町	38,000部 20日発行

佐賀県

県内発行媒体数 2誌　県内総発行部数 148,150部

Toss vol.135	鳥栖市・基山町 上峰町・みやき町	44,500部 25日発行
月刊 ぷらざ 佐賀 vol.468	佐賀市	103,650部 月末発行

大分県

県内発行媒体数 1誌　県内総発行部数 47,000部

てくてくぷらす vol.224	臼杵市・津久見市 佐伯市・大分市東部	47,000部 25日発行

宮崎県

県内発行媒体数 1誌　県内総発行部数 83,100部

Palm's vol.418	宮崎市	83,100部 25日発行

沖縄県

県内発行媒体数 1誌　県内総発行部数 32,000部

宮古ストーリー vol.78	宮古島市	32,000部 25日発行

『地域みっちゃく生活情報誌®』設置版・季刊発行等

愛知県		
はなまる. vol.297	豊橋市・豊川市・田原市・蒲郡市・新城市・静岡県湖西市	57,000部 最終金曜日発行
香川県		
セトナミ	東かがわ市・さぬき市	35,000部 20日(年4回)発行

掲載レスポンス

『地域みっちゃく生活情報誌®』に掲載した広告の反響をご紹介します。

毎月ご掲載いただいている地元の老舗寿司店。写真を差し替えてからレスポンスがじわじわと増加し、日に2、3枚程だったクーポンバックが、直近では1.5～2倍になる日もあると、お喜びの声をいただいています。

目をひく写真への変更で、反響数が最大2倍に増加

県内に5店舗を展開するスイーツ店。夏のキャンペーンで、ケーキやプリン、ギフト商品のお得感を訴求した結果、昨年比1.25倍の売上を記録しました。「広告を見たよ」と常連客からの声も多く届き、認知拡大につながりました。

昨年比1.25倍の売上に貢献したスイーツ店成功例

情報誌見積サイト

HAPPY MEDIA GUIDE

全国で配布しているフリーマガジン『地域みっちゃく生活情報誌®』への広告出稿の見積作成、問い合わせが可能！

サイズ別料金が知りたい！
見積もりが今スグ欲しい！

サイトで今・解決！

クリック！

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

Chuco Works

巻頭特集から生まれる地域の一体感　地域みっちゃく生活情報誌®

地域全体で若者を後押し！「まちは、君の応援団だ。」

『桐生みどりフリモ』7月号（群馬県桐生市・みどり市）では、「まちは、君の応援団だ。」をテーマに高校生応援企画を実施しました。きっかけは、夏の高校野球で地域の期待を集める桐生第一高校を巻頭特集で取り上げたことです。チームを支える吹奏楽部と応援団にスポットを当て、日々努力する高校生の姿を地域へ届けました。

まちの企業やお店には、「地元の高校生を一緒に応援しませんか」という切り口でご提案。多くのクライアントから共感をいただき、地域全体で高校生を応援する企画へと広がりました。

誌面にはクライアントからの温かいメッセージが並び、地域を思う心がしっかりと伝わる内容となりました。読者からも「高校生の笑顔が眩しかった」「若者の活躍に期待したい」といった声が寄せられ、地域で頑張る人を応援し、その思いを企業や読者につなぐという、情報誌の役割を改めて実感できる企画となりました。

（桐生みどりフリモ編集室・新島）

価値ある情報発信で読者の行動を生みだす　地域みっちゃく生活情報誌®

地域の魅力を再発見！地元で楽しむ夏の感動体験

『こんきくらぶ』7月号（滋賀県彦根市他）では、今年4月にオープンした注目の宿泊施設「KOMOREVILLAGO（コモレヴィラーゴ）」を表紙・巻頭特集で掲載。琵琶湖畔まで徒歩約30秒という絶好のロケーションや、愛犬と過ごせるプライベートドッグラン、地元の旬を味わうアウトドアクッキングなど、地域ならではの過ごし方を魅力たっぷりに紹介しました。

次ページでは、連動企画「日常を飛び出せ！ココロオドル夏の感動体験」を展開。身近で非日常を味わえるスポットを紹介し、お出かけのきっかけをつくりました。

発刊後、読者からは「近場にこんなに素敵な場所があるとは知らなかった」「夏休みのお出かけの参考にしたい」といった声を多数いただいております。外出を促し健康維持や地域の活力を高めるという編集室の思いが届き、地域の魅力を再発見・創出する情報誌の役割を果たせた成功事例となりました。

（こんきくらぶ編集室・入野）

情報誌『ばど』が第2創刊　地域みっちゃく生活情報誌®

サイズも中身も一新！より読まれて使われる誌面へ

『ばど』では今回、判型をAB5判からA4サイズへ変更するとともに、表紙1面の広告枠を廃止。新たに巻頭記事を導入し、読者やクライアントご自身に誌面へ登場いただく企画も取り入れております。狙いは「より読まれる誌面」を実現し、さらなる反響につなげることです。

リニューアルにあたっては、クライアントの皆様へ丁寧な対話を重ね、温かいご理解とご協力をいただきながら、無事に発刊を迎えられました。デザイン面では、中広グループに協力を仰ぎ、クリエイティブチームによる的確なアドバイスと、制作システムの導入サポートにより、質の高い誌面づくりを実現できました。

おかげさまで読者からは好評で、誌面の見やすさや親しみやすさについて多くの喜びの声が寄せられているほか、その反響がクライアントの満足度にもつながっております。今後はSNSとの連携も強化しながら、反響拡大に尽力してまいります。

（関西ばど・渡邊）

一点一画に魂を込め、新たな視点で魅力を発信　ポスター

第72回名古屋まつりポスター制作・広報を受託

第72回名古屋まつりのポスターデザイン、広報業務を受託しました。

筆と墨で力強く描かれた名古屋城と三英傑――。筆の流れや表情を生かした表現で、見るたびに新しい発見と驚きが生まれるビジュアルとしました。また、背中で語る三英傑を、今までにないアングルから捉え、その存在感と物語性を新たな視点から表現しています。

筆をふるうのは、世界を魅了する書道アーティストの原愛梨さん。その名を世に轟かせた三英傑が語り継ぐ名古屋まつりの魅力を、世界基準の表現力で伝えます。また、お気づきでしょうか。サプライズのある仕掛けがあります。名古屋城、金鯱、三英傑をぜひじっくりとご覧いただきお楽しみください。

9月初旬頃から、鉄道や駅、百貨店、空港、行政施設など、市内各所に掲出し、名古屋まつりをPRします。10月17日（土）・18日（日）はぜひ、第72回名古屋まつりにお出かけください。

（中部プロモーション部・尾関、山口、奥富）

HAPPY MEDIA

『ままここっと®』

園児から家庭に直接届く
子育て情報満載のフリーマガジン

【配布先】県内全域の幼稚園・保育園・こども園
【設置先】産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等
【仕　様】冊子A5版 オールカラー
【発行時期】年4回（1月・4月・7月・10月）
【発行部数】みやぎ版／25,000部　群馬版／57,000部　埼玉東版／25,000部　ちば（中部版）／50,000部　ちば（北西部版）／50,000部　岐阜版／57,000部

『Workin』

アルバイト・パート・中途・新卒・派遣等、
あらゆる雇用形態に対応した総合求人メディア

【設置先】県内広域のスーパー・ショッピングモール・コンビニ・駅・大学など
【仕　様】冊子AB版 オールカラー
【発行時期】隔週（月・火）※山形月一
【発行部数】青森版／12,000部　富山版／12,000部　秋田版／12,000部　石川・福井版／12,000部　岩手版／12,000部　山形版／12,000部　宮城版／33,000部

『Start！』

進路選びを応援する
高校生のための就職応援メディア

【配布先】高校
【仕　様】冊子A4 オールカラー
【発行エリア】山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県、福岡県

「講演会インフォ」

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス
【登録講師数】7,000名
【年間実施件数】400件以上
クリック!

クーポンアプリ「フリモ」

ver.1.0 50万ダウンロード突破!

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に！切り取らなくてもスワイプで簡単に使える！
※ダウンロード数 571,054件
（2026年8月20日現在）
クリック!

CHUCO CLUB

第1四半期連結決算短信を発表

8月7日に中広第49期第1四半期連結決算短信を開示しました。当期（2026年4月～6月）の売上高は前年同期比15.4%増の3,057百万円と、第1四半期売上として初の30億円台となりました。また、利益面では前年同期の赤字から一転、営業利益は78百万円、経常利益は88百万円、四半期純利益は45百万円と、2期ぶりの黒字転換を達成しました。第1四半期として営業利益・経常利益が過去最高利益となるなど、今期スローガン「50X」のもと、「ハイブリッド広告」の進化が実を結んだ好調な滑り出しとなりました。

（管理本部・倉橋）

日本最大級の踊りの祭典「どまつり」を応援

名古屋の夏の風物詩「にっぽんど真ん中祭り（どまつり）」の開催にあたり、当社は味の素AGF株式会社とどまつりが展開した「熱中症対策プロジェクト」に深く共感し、祭り当日のブースで「どまつり2026限定デザインマイボトル」を販売しました。

当社はこれまでも、名古屋が世界に誇る一大文化を未来へつなぐことを目的に、賛同企業として携わってまいりました。今年は近年の猛暑に対する安全確保が急務と考え、マイボトル普及を通じたこまめな水分補給の啓発と、使い捨てプラスチック使用量削減による環境負荷低減を同時に目指しました。

（広報・マーケティング　岡本）

熱中症対策として塩分タブレットを配布

昨今の気候変動に伴う地球沸騰化や連日の酷暑を受け、環境省や気象庁より熱中症への警戒が呼びかけられています。当社では持続可能な事業継続と従業員の安全・健康確保を経営の最優先事項と捉え、熱中症対策の一環として、全社員への塩分タブレット等の配布を実施しております。

当社の社是「人が命、人が宝、人が財産」が示す通り、当社の事業を支える要は、従業員そのものです。従業員一人ひとりが安全にパフォーマンスを発揮できるよう、適度な水分・塩分補給の徹底および適時な休憩の取得を組織全体で推進しています。

今後も現場環境の改善や徹底したリスク管理を通じて、従業員が安心・安全に働ける環境整備に努めるとともに、ステークホルダーの皆様へ安定した価値を提供してまいります。

（管理本部・後藤）

VC TOPIC　茨城県『月刊かしす』株式会社日宣メディックス

地域の採用課題解決へ記事広告をシリーズ化

▲『月刊かしす』8月号の企画誌面

『月刊かしす』の発行エリア、茨城県鹿行地域はBtoB企業が多く、一般消費者との接点が少ないため、優れた企業でも知名度が上がりにくく、採用活動が課題となっています。そこで本企画では、「働く人」の視点から企業の魅力を発信。編集スタッフが職場を取材し、若手社員へのインタビューのほか、仕事内容や福利厚生、資格取得支援制度などを分かりやすく紹介しました。

掲載企業からは「社員の自然な表情や社風が伝わり、採用活動にも活用できる」と高評価をいただきました。読者からは「地元の優良企業を知れた」「働く人の声が参考になった」「会社説明会に参加した」といった反響が寄せられ、地域企業の認知向上と採用ブランディングに貢献した企画となりました。

部署だより　NO.152

FM事業部

『mintoup』編集室

▲『mintoup』編集室のスタッフ

『mintoup』は、岐阜県瑞穂市・本巣市・北方町・大野町の2市2町のエリアで発行している『地域みっちゃく生活情報誌®』です。利便性が高くベッドタウンとして発展を続ける瑞穂市、淡墨桜など雄大な自然を誇る本巣市、コンパクトながら都市機能が充実する北方町、美しいバラと古墳の町として知られる大野町――。都市の便利さと心安らぐ風景が共存する、絶妙なバランスが、このエリアならではの魅力です。

住みやすさゆえに「いつもの風景」になりがちな街並みだからこそ、私たち編集室のメンバー4名は、そこに隠された“新しい発見”を探し続けています。新しくオープンした素敵な店舗から、週末の家族のお出かけ先、家計にうれしいお得な情報まで、読者の皆さまに「今日の暮らしにすぐ役立つトピックス」をお届けしています。

これからも、何気ない毎日がちょっと特別になるような、この街での生活がもっと楽しくなる情報発信に全力で取り組んでまいります。

（mintoup編集室・矢島）

編集後記

2017年4月から毎月書き続けてきた編集後記。当時123誌・700万部だった規模は、9年5カ月を経て、現在では170誌・1,190万部（1.7倍）へと成長しました。

「紙媒体はオワコン」と言われて久しいですが、その逆風下でも成長を続ける『地域みっちゃく生活情報誌®』は、まさに稀有なブランドです。道は平坦ではなく、休刊を余儀なくされた媒体もあれば、復活を遂げて愛される媒体も。これは不易流行の精神で「紙への愛」と「こだわりを捨てる勇気」を両立させる挑戦の歴史です。

こうした歩みや、地域・顧客と共に起こしたイノベーションをより深く伝えるため、『中広報』は10月よりリニューアルいたします。情報誌の発行タイミングに合わせ、私たちの地域にかける熱量を、仕事の舞台裏を通して皆様にお届けできれば幸いです。

（広報・マーケティング　岡本）

Chuco Works Pick Up FILE.115

社長室 広報・マーケティング ｜ 部長 ｜ 岡本 舞

地域みっちゃく生活情報誌®

情報誌が向き合う、より良い地域づくりの責任
地域課題解決への行動

『地域みっちゃく生活情報誌®』は、地域における圧倒的到達力を誇るメディアです。だからこそ、その影響力を生かして読者と地域社会に訴えかけることで、地域が抱えている課題の解決に切り込むことは一つの役割りであると考えています。交通事故死者数減少への啓発、多文化共生への理解促進、少子高齢化が進む地域における文化・芸術に親しむ機会の創出。時にはCSV（共通価値の創造）キャンペーンとして、時には巻頭特集として、地域と協働した事例をご紹介します。

ケース1 愛知県全域

愛知県の交通事故死者数 全国ワーストの脱却を実現

愛知県では2018年から、全44誌（当時）の『地域みっちゃく生活情報誌®』で「サヨナラ15」というキャンペーンを実施しました。これは愛知県が、2003年から15年連続で交通事故死者数全国ワーストワンを記録してしまったという状況を鑑み、少しでも尊い命を守りたい、交通安全という意識を県民に根付かせたい、「朝元気に家を出て、夜帰になって帰ってくる」などという悲しい現実を撲滅したいという強い思いから始めたものです。

誌面では、15年連続ワーストワンに関連付け、15歳の県民が登場し、「ずっとサイテーだから」という強烈なキャッチコピーとともに啓発を展開。誌面と動画を連動させることで若年層の興味関心を想起したほか、愛知県警と連携して、事故が多い危険な交差点の紹介なども実施。地域の企業にも支援いただき、約2年間、誌面キャンペーンを継続した結果、愛知県は2019年、交通事故死者数の全国ワーストワンを脱却することができました。

ケース2 岐阜県可児市

地域住民と外国人の 多文化共生を支援

岐阜県可児市で発行している『かにさんくらぶ』では、2007年から「多文化共生」をテーマにした巻頭特集を継続して掲載してきました。

可児市では増加する外国籍の子どもたちが、スムーズに地域の小学校や中学校に適応できるよう、基本的な日本語の教育や学校ルールの説明、算数や数学などの初期教育を行う場として、2005年から「バラ教室KANI」を開設。その周知と、地域における日本人と外国人の融和を目的に、同誌では長年にわたって年1回、巻頭特集で地域における多文化共生を伝え続けました。

回を重ねるごとに内容も磨き上げ、最終的には日本語、英語、ポルトガル語で誌面を展開。日本各地では、日本に住んでいる外国人と地域住民が衝突するケースもあるなか、互いの理解を深め、架け橋となる誌面展開に尽力しました。

ケース3 岐阜県飛騨地域

地域の文化振興と多世代交流 誌面で伝え続ける18年

岐阜県の飛騨地域では、2009年から飛騨・世界生活文化センターが主催する市民参加型のオリジナルミュージカルが開催されています。都市部ほど芸術に触れる機会が多くない地域で、人々に豊かな芸術文化を提供したい、また、市民参加とすることで世代間交流や地域振興の機会としたい、そんな思いから立ち上げられた事業です。

同地域で発行している『SARUBOBO』は、この取り組みの意義に賛同。第1回から取材し、巻頭特集で毎年、舞台に立つ市民の意気込みなどを紹介し続けてきました。2026年の2月号も公演直前情報として、ミュージカルに関わる多くの人々の思いだけでなく、長年継続してきた取り組みが、地域の文化として根付き、次世代に受け継がれていることを伝えました。人口減少と少子高齢化が顕著な飛騨地域において、常に地域の素晴らしさを発信し続けています。

今後も地域課題に対して 真摯に向き合う責任

これらの他にも、免許返納に伴い買い物難民になってしまった地域の高齢者たちを支える団体の活動紹介や、読者を巻き込んだ里山再生のための植林ボランティア募集など、『地域みっちゃく生活情報誌®』では、多彩な地域課題の記事を掲載し、読者に届けてきました。

また直近では、切迫性が高まっているとされる南海トラフ地震から読者の命を守るため、三重県内の自治体と地域包括連携協定を締結し、備えを促すとともに、最適な情報を届ける計画も進めています。

大なり小なり、地域には様々な課題があります。地域の隅々まで届き、読み込まれる『地域みっちゃく生活情報誌®』だからこそ、今後もメディアとしての責任を果たすべく、地域課題と真摯に向き合い、その解決に向けて取り組みます。

会社概要

商　　号	株式会社 中広（CHUCO CO., LTD.） 東証・名証 証券コード【2139】
創　　業	1978年
資 本 金	4億430万円
従 業 員	417名　グループ全体 726名（2026年8月末現在）

JPX 東証上場

事業内容
フリーマガジン事業　イベント・セミナー事業
プロモーション事業　通信販売事業
クロスメディア事業　VC事業（ボランタリー・チェーン）

理　念　広告業を通して「地域社会への貢献」（地方創生に!）

社　是　人が命・人が宝・人が財産（社員が輝く組織に!）
機会損失の排除（モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ）

社　訓　飲水不忘掘井人（感謝の心で!）

グループ会社
株式会社中広メディアソリューションズ
株式会社ケイ・クリエイト
株式会社ケイビーエス
株式会社 関西ばど
株式会社まちトピア
株式会社中広ワークイン

リンク集はこちら　クリック!

加盟団体　JLAA　一般社団法人日本地域広告会社協会

第49期　基本方針
スローガン　50X　テーマ　AI Driven

50X宣言

中広グループは創業50周年を転換点とし、
「50X」を掲げ、本質的な転換へ挑む。
築き上げた全国の紙媒体配布網にWEBやAIを融合し、
広告の枠を超えた「地域データインフラ企業」へと進化を遂げる。
井戸を掘ってくださった先人たちへの感謝と敬意を胸に、
進化のための変化を選び続ける。
次の50年後も地域の未来を支え続けるため、
50周年を起点に、100年続くグループとして、
中広グループは次のステージへ進む。

次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業です　2017年取得

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です　2016年取得

沿　革

	会社のあゆみ	HAPPY MEDIA®のあゆみ
1978	設立　後藤数次社長就任	
1983	求人情報紙事業開始	
1986	後藤一俊社長就任	
1993	イベント・セミナー事業開始	
1994		●岐阜県／「かにさんくらぶ」創刊
1997		●滋賀県進出
1998	通信販売事業開始	
2006		●三重県進出
2007	名古屋証券取引所セントレックス上場	●50万部達成
2008		●福井県進出 講演会インフォ公式ウェブサイト開始
2009		●100万部達成
2010		●愛知県進出
2011	○児童虐待防止運動を岐阜県高山市で開始	
2012	名古屋証券取引所第二部上場 VC事業開始	●全国展開開始（VC） ●福岡県・山梨県・兵庫県・和歌山県進出　●200万部達成
2013		●山形県・茨城県・鳥取県進出 ●300万部達成
2014	東京証券取引所第二部上場	●栃木県・宮城県・新潟県・群馬県・大阪府進出 ●岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」掲載開始
2015	東証一部・名証一部に市場変更	●北海道・埼玉県・佐賀県・香川県進出 ●500万部達成
2016		●高知県・福島県・長野県・京都府進出 『まままこっと』創刊
2017		●東京都・愛媛県・静岡県・宮崎県・奈良県進出
2018	○児童虐待防止運動を全国へ展開 ○愛知県交通事故死者数全国ワースト脱却CP開始	●三重県「三重県からのお知らせ」掲載開始 ●大分県進出
2019	後藤一俊会長就任 中島永次社長就任 ○愛知県交通事故死者数全国ワースト脱却CP達成	『Start!』創刊
2020	岐阜市・笠松町とシティ・タウンプロモーションの推進に関する連携協定締結	●沖縄県進出
2021	多治見市とシティプロモーションの推進に関する連携協定締結	クーポンアプリ「フリモ」開始 ●1,000万部達成
2022	大島斉社長就任 株式会社中広メディアソリューションズ設立 ㈱ケイ・クリエイト／㈱ケイビーエス グループ化	●神奈川県進出
2023	株式会社関西ばど グループ化 ○児童虐待防止運動の一環で#にっぽんオレンジシンボル運動を開始	
2024	○児童虐待防止運動が文部科学省とこども家庭庁の後援活動に	●広島県・秋田県・千葉県・岩手県進出
2025	株式会社まちトピア設立 株式会社中広ワークイン グループ化	●青森県・石川県・富山県進出

○…おもなCSR・CSV活動　●…地域みっちゃく生活情報誌®

営　業　拠　点

■ 本社
岐阜本社
岐阜市東興町27
名古屋本社
名古屋市中村区名駅1-1-1 24F

■ FM事業部

《北海道》
SORA編集室
滝川市東町6-1-11
TEL.0125-74-6169
旭川市東光6条6-4-7
TEL.0166-85-6158

《宮城県》
とみぃず！編集室
仙台市泉区泉中央1-33-7 2F
TEL.022-341-4809
なうてぃ！編集室
名取市手倉田字諏訪532-1 1F西
TEL.022-797-8541
さきっぺ！編集室
大崎市古川旭5-3-2 2F
TEL.0229-25-8792

《群馬県》
高崎フリモ
前橋フリモ編集室
高崎市新保町139-1 2F
[高崎フリモ]TEL.027-353-8714
[前橋フリモ]TEL.027-353-8711
伊勢崎フリモ
太田フリモ編集室
伊勢崎市茂呂町2-3522-6
TEL.0270-61-6117
桐生みどりフリモ編集室
桐生市本町6-27-1 3F
TEL.0277-47-7635

《埼玉県》
クッキーズ・とねじん編集室
久喜市久喜中央2-8-23 3F
TEL.0480-38-6881

《富山県》
にいかわプラス編集室
魚津市新金屋1-12-38 4F
TEL.0765-57-5120

《福井県》
きらめきくらぶ編集室
敦賀市野神40-277-2 1F
TEL.0770-24-2622

《山梨県》
ParuPi・ピグレ編集室
甲府市上石田3-4-10 2F
TEL.055-221-0682

《岐阜県》
GiFUTO編集室
岐阜市東興町27 4F
TEL.058-247-2512
SARUBOBO編集室
高山市下岡本町2967-2
TEL.0577-34-5579
Wao!Club・mintoup
はしまる編集室
大垣市加賀野4-1-13
[Wao!]TEL.0584-75-1960
[mintoup]TEL.0584-77-4088
[はしまる]TEL.0584-71-6226
GUJOプラス編集室
郡上市八幡町小野91-1
TEL.0575-67-0655
たんとんくらぶ編集室
各務原市那加栄町14-1
TEL.058-380-6066
きららくらぶ編集室
関市山王通1-6-3
TEL.0575-24-4334
かにさんくらぶ編集室
可児市今渡1595-190
TEL.0574-25-7009
おりべくらぶ・らせるくらぶ編集室
多治見市太平町4-38
[おりべくらぶ]TEL.0572-21-2626
[らせるくらぶ]TEL.0572-55-2033
maika club編集室
中津川市駒場字青木429-3
TEL.0573-62-2522

《愛知県》
フリモUP編集室
名古屋市中川区柳森町107 2F
TEL.052-355-6111
緑区フリモ編集室
名古屋市緑区大田1-150 2F
TEL.052-829-0270
守山フリモ・アサヒトセト編集室
尾張旭市東本地ヶ原町3-53 2F
[守山フリモ]TEL.0561-42-5799
[アサヒトセト]TEL.0561-42-6981
ゆいまるくらぶ・かなうくらぶ
愛知郡東郷町北山台4-1-6
[ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850
[かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855
cocolu club・安城フリモ
北知多フリモ編集室
知多郡東浦町大字緒川字下汐田17-1
TEL.0562-85-1077
リブル倶楽部編集室
犬山市松本町2-29
TEL.0568-39-6111
岡崎フリモ編集室
岡崎市明大寺町字川端19-13 4F
TEL.0564-83-7121
西尾フリモ・オレンジクラブ編集室
額田郡幸田町大字芦谷字毛倉62 1F
TEL.0564-83-7763

《三重県》
ぽろんくらぶ編集室
桑名市殿町10
TEL.0594-25-9988
Bellve club編集室
鈴鹿市神戸1-10-10
TEL.059-373-4400
よっかいちai編集室
四日市市鵜の森1-5-16 8F
TEL.059-325-7562
つっぴ～す編集室
津市栄町1-840 5F
TEL.059-213-7666
リィーガクラブ編集室
名張市鴻之台3番町36-1
TEL.0595-41-0156
ふぁみんくくらぶ編集室
松阪市東町596 3号棟 1-A
TEL.0598-31-3623
イセラクラブ編集室
伊勢市岩渕3-6-5 2F
TEL.0596-63-8282
からっと倶楽部編集室
尾鷲市中村町6-52　2F
TEL.0597-37-4100
さみっとくらぶ編集室
志摩市阿児町鵜方2850-126 D号室
TEL.0599-65-7201

《滋賀県》
ぽてじゃこ倶楽部編集室
長浜市宮司町1161-7 2F
TEL.0749-68-2577
こんきくらぶ編集室
彦根市長曽根町9-22 1F
TEL.0749-26-0555
オウティクラブ編集室
近江八幡市桜宮町289 3F
TEL.0748-36-1148
びわこと編集室
[大津北版][草津・守山版]
大津市浜大津2-1-35 6F
TEL.077-521-3911

《奈良県》
かしるくらぶ編集室
橿原市新賀町237-1 2F
TEL.0744-48-0606

《和歌山県》
まいなぁが・まいとん編集室
岩出市高瀬84-2 2F
TEL.0736-67-7630

《鳥取県》
つばさ編集室
鳥取市吉方温泉3-860 2F
TEL.0857-30-6446
くららくらぶ編集室
倉吉市山根540-1 4F
TEL.0858-27-0510
こはくくらぶ編集室
米子市西福原2-9-49 2F
TEL.0859-21-5400

《広島県》
はつカラ編集室
廿日市市新宮2-1-10 1F
TEL.0829-30-6673
えるびん編集室
福山市西町2丁目 5-5 2F
TEL.084-999-1535

《福岡県》
むなふ・おるね編集室
宗像市土穴1-3-34 1F
[むなふ]TEL.0940-72-6101
[おるね]TEL.0940-72-6102

《佐賀県》
月刊TOSS編集室
鳥栖市東町1-1064-15 1F
TEL.0942-50-9619

■ 東京プロモーション事業部
港区新橋2-16-1 9F
TEL.03-6910-2940
ES部
岐阜市東興町27 4F
TEL：058-248-5611

■ 中部プロモーション事業部
名古屋市中村区名駅1-1-1 24F
TEL.052-571-2139

■ ビジネスプロデュース事業部
ビジネスプロデュース部
[北海道・東北BP課]
苫小牧市旭町3-7-6
TEL.0144-56-5704
[関東BP課]
東京都港区新橋2-16-1 9F
TEL.03-6910-2940
[中部BP課]
岐阜市東興町27 4F
TEL.058-247-2511
関西プロモーション部
[関西プロモーション課]
[関西・北陸BP課]
大津市浜大津2-1-35 4F
TEL.077-521-3911
九州プロモーション部
[九州プロモーション課]
北九州市小倉北区堺町1-3-15 4F
TEL.093-383-7581
[福岡BP課]
福岡市早良区西新5-1-30 3F
TEL.092-400-5955

■ アライアンス事業部
VC部
岐阜市東興町27 4F
TEL.058-247-2511

■ EC統括室
大垣市加賀野4-1-13
TEL：0584-74-0745

■ 管理本部
経理部・総務人事部
岐阜市東興町27 2F
TEL.058-240-4005
[購買流通課]TEL.058-246-0285

■ グループ会社

株式会社中広ワークイン
本社
仙台市若林区舟丁18-2 3F
TEL.022-706-1481
青森営業所　TEL.017-742-4560
八戸オフィス　TEL.017-742-4560
秋田営業所　TEL.018-833-4510
盛岡営業所　TEL.019-624-4512
仙台営業所　TEL.022-225-8010
山形営業所　TEL.023-641-9012
福島オフィス　TEL.023-641-9012
東京オフィス　TEL.03-5484-8830
富山営業所　TEL.076-442-5805
金沢営業所　TEL.076-223-7581
大阪オフィス　TEL.06-7178-0531

株式会社関西ばど
本社
大阪市西区靭本町1-6-6 3F
TEL.06-6479-3113
北大阪支社　TEL.072-827-0810
東大阪営業部　TEL.06-6729-8101

株式会社中広メディアソリューションズ
本社／横浜オフィス
横浜市西区みなとみらい3-3-3 11F
TEL.045-514-1409
埼玉オフィス　TEL.048-767-8238
埼玉西オフィス　TEL.04-2928-3277
仙台オフィス　TEL.022-792-8101
山形オフィス　TEL.023-616-7390

株式会社ケイ・クリエイト
一宮本社
一宮市木曽川町里小牧寺東125
TEL.0586-86-0608
岩倉支社　TEL.0587-96-8331
清須支社　TEL.052-908-2877
静岡オフィス

株式会社ケイビーエス
本社
岩倉市新柳町1-50 2F
TEL.0587-96-8336
大阪支社　TEL.06-6780-3270

株式会社まちトピア
港区新橋2-16-1 9F
TEL.03-6910-2940